

松平徳政

此月之三日申使から三萬の金とすし申す

一
一
一

少敷の家の山用乃山内之と長刀きんの

治代也と

松平徳政

徳政は仕舞あしと信長はかりんとせん
る後のことい

一
天保三年正月言左と書

和列八所村地内古川五所出り所存同云

和列代官不和列字院致

本村也五所

八所村地内字多松耕他五所一和地と同村

常七古川五所出り所存同云

代官不和列字院致

同村地内字多松耕他五所一和地と同村

和列代官不和列字院致

和列代官不和列字院致

和列代官不和列字院致

仙臺の毒灰入方、此島村板の節、外下毒、
多う板多破碎の、以板子と云ふ所、堀出の均
板と海牌の、箱、蓋、之、以、洞、毒、出、う、焼、灰
有、其、余、神、ノ、宗、灰、等、之、地、不、古、地、不、古、地
地、之、内、之、宗、灰、之、年、為、不、相、知、之、縁、土、(未、年
桂、村、右、邊、依、控、地、之、節、之、常、也、本、宗、各、地、年、不
持、地、之、節、之、人、進、之、及、因、爲、年、月、不、相、知、
凡、五、十、年、前、以、美、田、村、次、所、之、持、地、お、引、渡、
同、人、持、地、對、現、帝、喜、不、持、地、之、節、之、
不、持、之、初、之、常、也、祖、父、林、之、持、地、要、め、常、也、代、之、

上、代、持、地、の、水、山、地、之、節、之、堀、出、の、傷、不、古、地、山、岸
村、方、ら、の、下、年、地、之、相、知、之、節、之、宗、灰、古、地、或、之、樹
本、宗、有、之、以、依、老、年、之、者、不、存、中、傳、亦、不、存、
之、節、之、以、方、堀、出、の、節、之、得、之、相、改、以、知、曆、史、
有、之、以、文、忌、寸、紙、麻、呂、之、納、骨、古、墳、之、中、之、者、雲
巳、年、九、月、中、卒、去、之、旨、洞、牌、之、お、引、渡、之、方、之、太
洞、牌、若、箱、之、因、緋、法、吹、出、之、節、之、毒、土、外、也、
一、面、之、後、金、又、之、控、附、亦、之、以、社、之、宗、灰、之、上、者、
法、又、之、節、割、下、之、以、案、之、相、改、何、之、宗、灰、洞、之、
お、引、渡、情、宜、之、牌、亦、之、箱、之、蓋、之、節、之、石、同、

有之為キ方不自然之朽壞一以依居之
外卜毒去不御朽換一少一因一有一以毒
去惡去与破濶之居之平一以フラスコ同根お
見中の中入以炭土石灰之粉子之骨般之
相之平中以此平場出以京之富社に物以不古所
言位方之古傍教平生二便之卵肥一少之
お探一以辰早竟所取候と之今中今更忠
怖所一不中念一少一事候付上於村方場
おの平一太切一古復政一夜者一同中一平一
右指末末五潤相回り候一有以中知有一以迄

場之村役人にお頼之幕末迄一板取平他平
持出以候一古簿帳一見お平の取止一古發見
亦中福乃出方中返出付上之平一平一
則場出以京一少一古幕給思之牧相法一少一知
伺以候一

天保三卯年之月

本村お平迄平

本村お平の別代一迄お伺一有右同牌一以迄平の
圖書を平一平一及穿鑿一以不文忌寸候幕末迄平
平一相一平一古姓一或平年平亦平凡一并合候一迄
右指一平一平一古平一以迄一平一相見一平一竟

於地ノ以善ノホホク
 依ノホホク右傍ノ善ノ地
 人ノ遺骨ト云ク遠ク
 場ノホホク裡ノ米陸地
 多クホホク左ノ地
 納布ノ字キリ
 即ノ存ノ依ノ右
 以相候ノ以也

右四日

出願者名氏
左原守俊

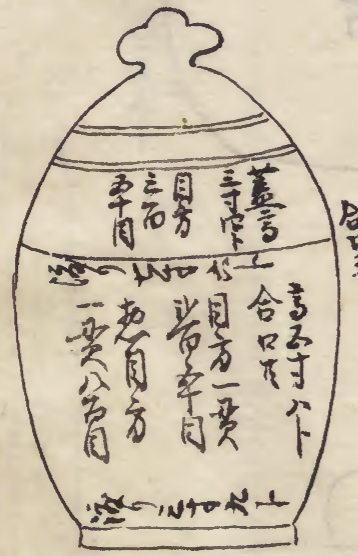
集ノ人
豊後守

續日本紀卷之四

文武天皇

慶雲四年冬十月戊子從四位下文忌寸弥
 麻呂卒遣使宣 詔贈正四位上并賜絕布
 以壬申年功

銅壺



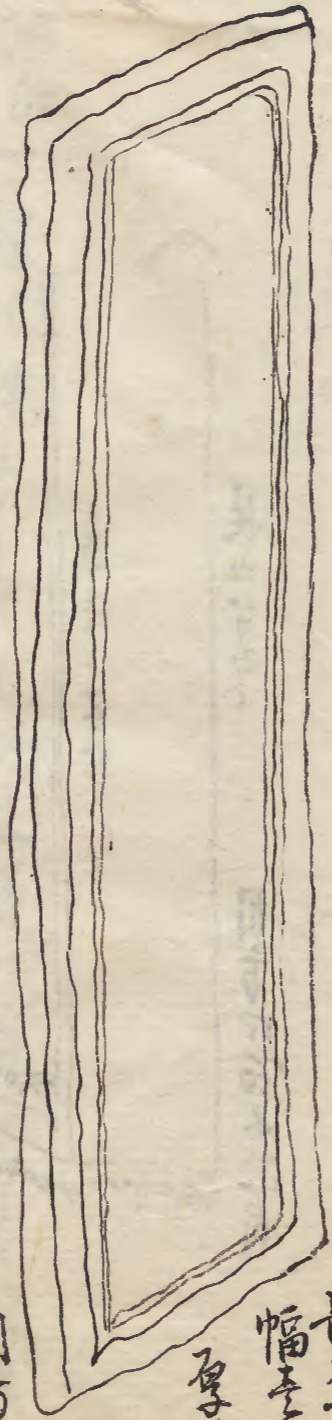
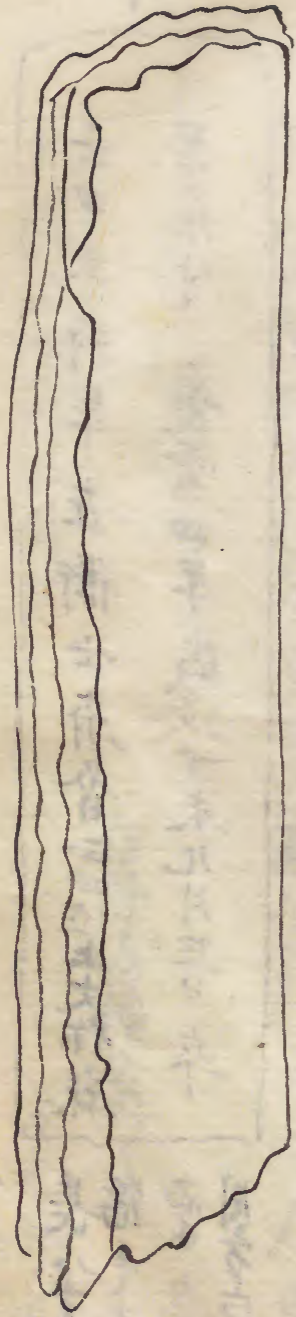
惣言八寸九下

合口下

用出ノ或尺四寸下

銅箱蓋裏

同表



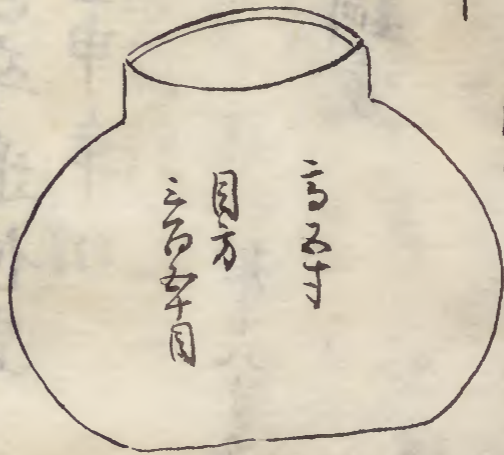
同方
白字字同

長九寸九卜
幅五寸九卜
厚四寸五卜
字下不同

玻璃壺

蓋
三寸五分

胴四寸五分



破教拾貳



三寸九卜

酒

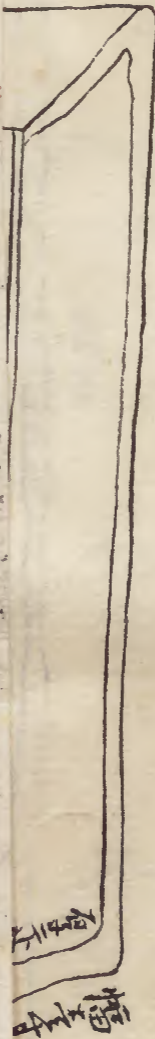
銅牌

壬申年將軍左衛士府管正四位上丈祿麻
呂忌寸 慶雲四年歲次丁未九月廿日卒

長八寸六分
幅三寸四分
厚九厘
目方六枚目

銅箱

真跡ヲ得ル



士甲手將軍左衛士府管正四位上丈祿麻
慶雲四年歲次丁未九月廿一日卒

女男犬全圖

同産七子六子ハ死ス

末ノ乳ノアリニ並ニ付

柝犬ハ六畜の一ニシテ其種多ク中に今茲
三月六日卯六時うまも出くる六足の大をそまぬ
一狎牝犬にして大の足は牛或は八足の危
廉よりも又家也程かゝるものを身目あやう
ハわいさきおとまうて其果を割して人の序を
とむるに似る

伊勢清願の丹由

上毛那波村

連取村

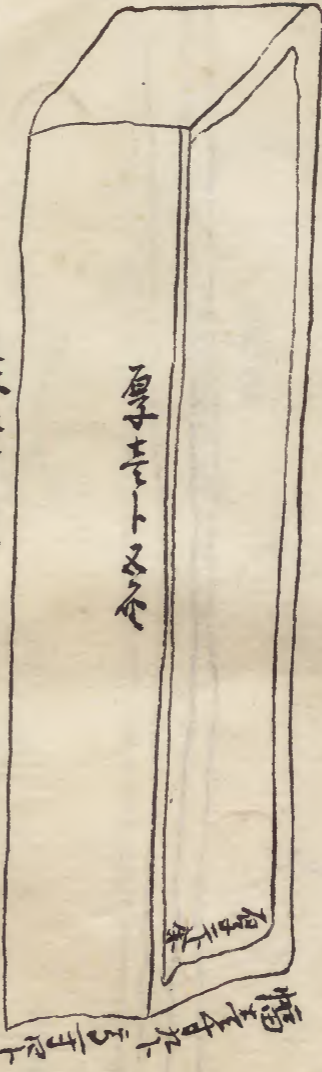
天保三年八月

銅牌

壬申年將軍左衛士府督正四位上丈祿麻
呂忌寸 慶雲四年歲次丁未九月廿日卒

長八寸六分
幅三寸五分
厚九厘
目方六枚目

銅箱



慶雲四年ヨリ
天保三年迄 千百廿五年

女男犬全圖

同産七子六子ハ死ス

末ノ乳ノアリニ並ニ付

柝犬ハ六畜の一ニシテモ種多ク中に今茲
三月六日卯六時うまも出さる六足の大をきぬ
一狎牝犬トシテ犬の足は八足の危
麻よりも又家也程かゝるを耳目あやう
ハわいさきおとさうとて果を割して人の序を
とらしむに何ぞ

天保三年八月

伊勢清原の丹由

上毛那波村

連取村